



市長モリテツの ほっとトーク

September 2021

2021のさまざまな夏

— コロナ禍の中、大切なものを伝え、守っていく —

三田市長 森 哲男

1年延期となった「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会」でしたが、コロナ禍での開催をめぐってさまざまな意見が交わされました。半世紀前の東京オリンピックのような高揚感は感じられず、抑制された雰囲気の中での開催でしたが、大きなトラブルもなく実施されたことに、感謝とともにほっとしています。そして、今行われているパラリンピックも無事に最後まで実施されることを祈念しています。

振り返ってみると、1964年秋の東京オリンピックは、当時中学1年生の私にとって、黒のテレビから見る世界は驚きと感動の連続で、人生の大切な思い出です。当時、虚弱で運動が苦手な子どもであった私が、運動することにも積極的になれたのは、オリンピックに大きな刺激を受けたからだと思います。今回のオリンピック、パラリンピックでは、テレビで様々なスポーツを観ることができました。多くの子どもたちに、困難を乗り越え活躍するアスリートの姿を通して、スポーツの素晴らしさが伝わったと思います。また、「多様性と調和」という理念のもと開催された今回のオリンピック

クでは、開催前からジェンダーフリーをめぐる活発な議論があり、試合直前の人種差別反対のポーズや、選手によるLGBTの表明も行われました。これを契機として、子どもや若者に「人権尊重、多様性、共生」への理解が深まることを期待しています。

一方、コロナ禍が急拡大する中、4回目の緊急事態宣言が兵庫県下にも発出されました。感染力の高いデルタ株が若い世代を中心に広がり、医療が危機的な状態になっています。市では、迅速かつ計画的なワクチンの供給を国、県に強く要請し続けることで、十分なワクチン量を確保し、集団接種、個別接種などを安心して受けていただき、一日も早いワクチン接種完了を目指しています。若い人たちには自分を守るため、人を守るために、積極的に接種するようお願いいたします。

今夏は、拡大するコロナ禍の中、雨天が続く日本全国で災害が起こりました。今後とも、避難に関する正確な情報を迅速に伝えていきます。市民の皆さんには、自らの命や大切な方の命を守るため、適切な避難行動をとるため、適切に行っていたいただきたいと思っています。

Mayor's Photo Diary



7月19日 神戸大学大学院システム情報学研究科とスマートシティに関する連携・協力協定の締結



7月26日 広野地区で新しい移動手段となる、住民が運転する「あいのり1号」の運行開始式



7月27日 台風シーズンに備え、コロナ禍に対応した避難所運営訓練を親和学園駒ヶ谷体育館で実施